

図 4.1-2 各調査で期待された成果と漂流・漂着ゴミ削減方策との関連性

#### 4.2 成果と課題

熊本県天草地域では図 4.1-2 に示した調査のうち、概況調査（文献及びヒヤリング調査、航空機調査）、クリーンアップ調査（共通調査、独自調査）、フォローアップ調査、その他調査として定点観測調査を実施した。

それぞれの調査で得られた成果と今後の課題についてまとめたものを表 4.2-1 に示す。

今後、漂流・漂着ゴミの削減方策に資するための調査を実施する場合には、課題点に対してどのような対策をとるのかを検討し、より効果的な調査を立案する必要がある。

表 4.2-1 熊本県天草地域で実施した調査の成果と課題

	調査項目	得られた成果	今後の課題
1	文献及びヒヤリング調査	調査地域周辺の地理的状況、清掃活動、回収事業の実施状況の把握。	漂着のメカニズムに係る海底地形、流況、潮流に関する情報の不足。
2	航空機調査	調査範囲を含む熊本県の全海岸線のある時間断面の漂着ゴミの状況の把握。	1 時期（9 月 20～22 日）の情報のみであり、他の時期の状況については不明。
3	共通調査	調査期間における調査時期別・地点別の漂着ゴミの定量採取、ゴミの分類を行い、時期別・地点別の漂着ゴミの量と質を把握。	1 年間だけの情報。 【調査枠の設置方法】 八代海のような比較的静穏で干満の差の大きな海岸では、海岸にゴミが漂着せず、汀線付近を漂う状態があり調査枠にゴミが入らない場合もある。 【発生源の把握】 発生国、発生場所を把握するためのライター、ペットボトル等が調査枠だけでは十分に取得できなかった。
4	独自調査	調査範囲のゴミの回収、処理。 地域の実情の即した効率的・効果的な回収、運搬、処分方法の提案。 回収、運搬、処分に要する費用計算。	回収、運搬、処分に関して地域の中で全ての可能性を検証したわけではない。例えば流木の有効利用など。
5	フォローアップ調査	漂着ゴミと気象・海象との関連性を検討し、いつごろ、どのような場所にどんなゴミが漂着するのかを把握。	1 年間だけの情報。 河川から流入し、漂着にいたる物理的環境条件の検討が不十分。 調査期間のある場所での定性的な検討が多く、他の時期や場所に適用できるような普遍性に欠けている。 他の調査結果の利用や比較が不十分。
6	定点観測調査	ある場所の調査期間の毎週のゴミの漂着状況の把握。	異なる条件の場所を複数設定して観測を実施していない。

## 5. 海岸清掃活動に関わる参考資料

### 5.1 漂着ゴミ量の推定資料

共通調査及び独自調査から得られた情報を基に、実際に長崎県対馬市の海岸（越高及び志多留）において漂着ゴミを回収する場合に、その海岸での漂着量を推定するのに役立つための資料を整理し、参考資料とした。

具体的には、越高海岸及び志多留海岸での調査枠内（10m枠）で回収されたゴミの重量（kg）及び容量（L）と、10m枠の写真（漂着ゴミの概観）を並列させ、実際に他の海岸で漂着ゴミを観察した時に、果たしてどれくらいのゴミ量があるのかを把握するための参考とするものである。資料では、この量の多い順に並べてある。

これを基に、実際の清掃活動に必要な人員や機材、あるいは環境省の「災害等廃棄物処理事業費補助金」の対象事業たり得るかの判定等に利用できるものとする。

越高海岸 (1 枠)

1651.30 409.71kg



・第 1 回調査

350.42 50.43kg



・第 6 回調査

100.72 12.67kg



・第 5 回調査

82.40 6.89kg



・第 3 回調査

越高海岸 (1 枠)

68.41 8.00kg



・ 第 2 回調査

64.34 10.68kg



第 4 回調査

越高海岸 (2 枠)

1215.36 207.22kg



・第 1 回調査

210.35 32.66kg



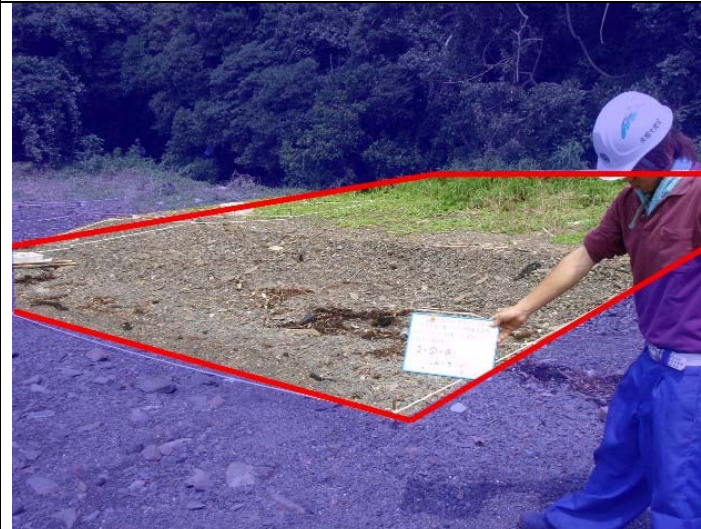
・第 6 回調査

93.88 13.63kg



・第 2 回調査

76.63 8.60kg



・第 5 回調査

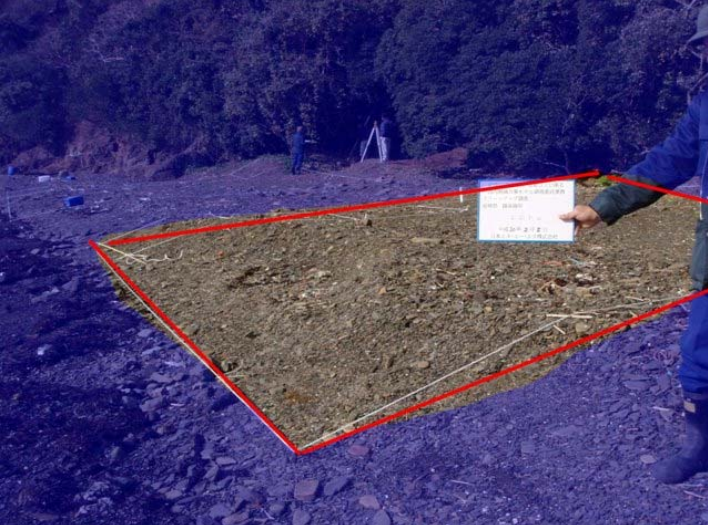
越高海岸 (2 枠)

53.66 6.00kg



・第 4 回調査

17.44 2.16 kg



・第 3 回調査

越高海岸 (3 枠)

2017.46 340.77kg



・第 1 回調査

248.05 32.38kg



・第 6 回調査

89.71 13.04kg



・第 2 回調査

87.93 9.76kg



・第 4 回調査